

★基本的な接し方の紹介です

★見え方も困っていることも人それぞれ違うので、何が必要かどのようにしたらいいのか、本人に聞くことも大切です

※下手な遠慮やお節介はかえって分かりづらく、印象も悪いです

はじめに

- ・困っているようなときは
「お困りですか?」「お手伝いしましょうか?」等、
まず声をかけましょう
×いきなり杖や手をひっぱる
×後ろから押す、抱え込む
- ・困ってないときは、すぐの手伝いは必要ありません
- ・声をかける際は名乗り、立ち去るときもひと声かけましょう

手引する(一緒に歩く)とき

- ・肘の上あたり(もしくは肩)を持ってもらい、半歩前を歩きます
- ・その際、二人分の幅・高さの安全に気をつけましょう
- ・狭いところでは「狭くなります」等と声をかけ、持ってもらっている腕を背中側に回し、縦一列で歩きます



トイレを案内するとき

- ・広い多目的トイレより、狭い(一般の)個室を望む方が多いです
- ・選べる場合は希望を聞きます(和・洋・多目的…)
- ・個室の入り口で、便座の向きとペーパー・水洗の位置を伝えます
- ・要望があれば、カギや荷物置き場等も伝えます

イスに案内するとき

- ・イスの背もたれへ手を案内します
- ・背もたれがない・案内しづらいイス(ベンチのような長イス・丸イス等)は座面に手か足か杖が触れるように案内します
- ・イスを引いたり身体を支える必要はありません
見守るだけにしましょう

階段を利用するとき

- ・階段のすぐ手前で止まり、「上り(下り)階段です」等と声をかけ、一段先を昇り(降り)ます
- ・昇り(降り)きったら、立ち止まって「終わりです」等ひと声かけましょう

エスカレーターを利用するとき

- ・エスカレーターの利用を希望する方は多く、乗り慣れてます
- ・一歩で乗り込めるようギリギリで止まり、「エスカレーターです」等と声をかけ、同時に乗ります
- ・降りるときは、止まると危ないので、止まらず進みます
- ・一人での乗り降りを希望される方もいます

視覚障害者への接し方

場所や物の位置を伝えるとき

- ・「ここ」「あっち」等の抽象的な言葉ではなく「まっすぐ〇〇メートル」「右に××歩」等の具体的な表現で伝えましょう
- ・左・右・前・後以外に時計の文字盤にたとえて（「7時の方向に△△があります」等）説明する方法もあります
- ・また、物を渡すときは手に軽く触れるように渡します



さいごに

- ・手助けが必要ない時（慣れた場所を歩いている時・待ち合わせをしている時等）は声をかけても断られることがあります、気にしないでください
「困ってなくてよかった」と思えるといいですね
- ・見え方にはかなり個人差があります
日によって時間によって見え方が変わる人も多くいますので、普段困らないところで困ることもあります
- ・盲導犬使用者を見かけたら…盲導犬使用者も同じです
盲導犬に直接触れたり、声をかけることは絶対しないでください
困っているようなときは使用者さんに声をかけてください
- ・「（信号が）青に変わりました」「（バスの）行先は〇〇です」
「（エレベーターで）△階に着きました」等、ちょっとした声かけが快適な外出につながります

視覚障害者への接し方



特定非営利活動法人 千葉市視覚障害者協会

⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
ちばし しかく しょうがいしゃ きょうかい